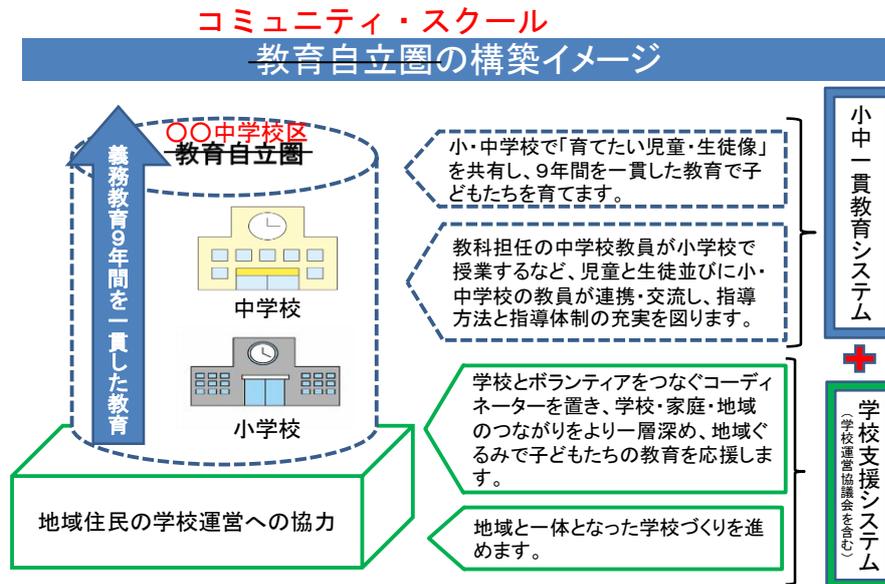


I 全中学校区共通の 検討課題と対応案

◆ 全中学校区共通の検討課題と対応案

【短期】 中学校区を基盤とした教育自立圏コミュニティ・スクールの形成 ～小中一貫教育システム・学校支援システムの構築～

少子化による学校の小規模化、核家族化などによる家族形態や学校と地域との関わりの変容、さらには、国による新たな教育システムの導入など、教育を取り巻く環境が変わってきており、これまで以上に学校・家庭・地域がパートナーシップをもって、小・中学校9年間で一貫した取組を充実させていく必要があります。そこで、より強固な教育機能を有した『教育自立圏』（中学校区）の形成に向けて、小中一貫教育システムや学校支援システムの構築を図ります。



【短期】・【中期】 ICTの整備及び教員の研修について

子どもたちに、社会を生き抜く力を支える確かな学力を身に付けさせる有効な手段の一つとして、ICTの活用による授業づくりが必要と考えます。

このため、短期では、全学級への弘前式ICT3点セット（教員用タブレット端末、実物投影機、電子黒板機能付きプロジェクターを各1台）及び無線LANの整備を進めます。また、授業を行う教員に対して、定期的に研修を実施するほか、ICT支援員の配置により利活用をサポートします。

中期では、児童生徒用のタブレット型端末の整備を検討します。



Ⅱ 各中学校区の個別の 検討課題と対応案

